

呉市都市計画マスタープラン地域別構想（素案）説明資料

第4章 地域別構想

- (1) 地域別構想の役割
- (2) 地域別の都市づくりの方針

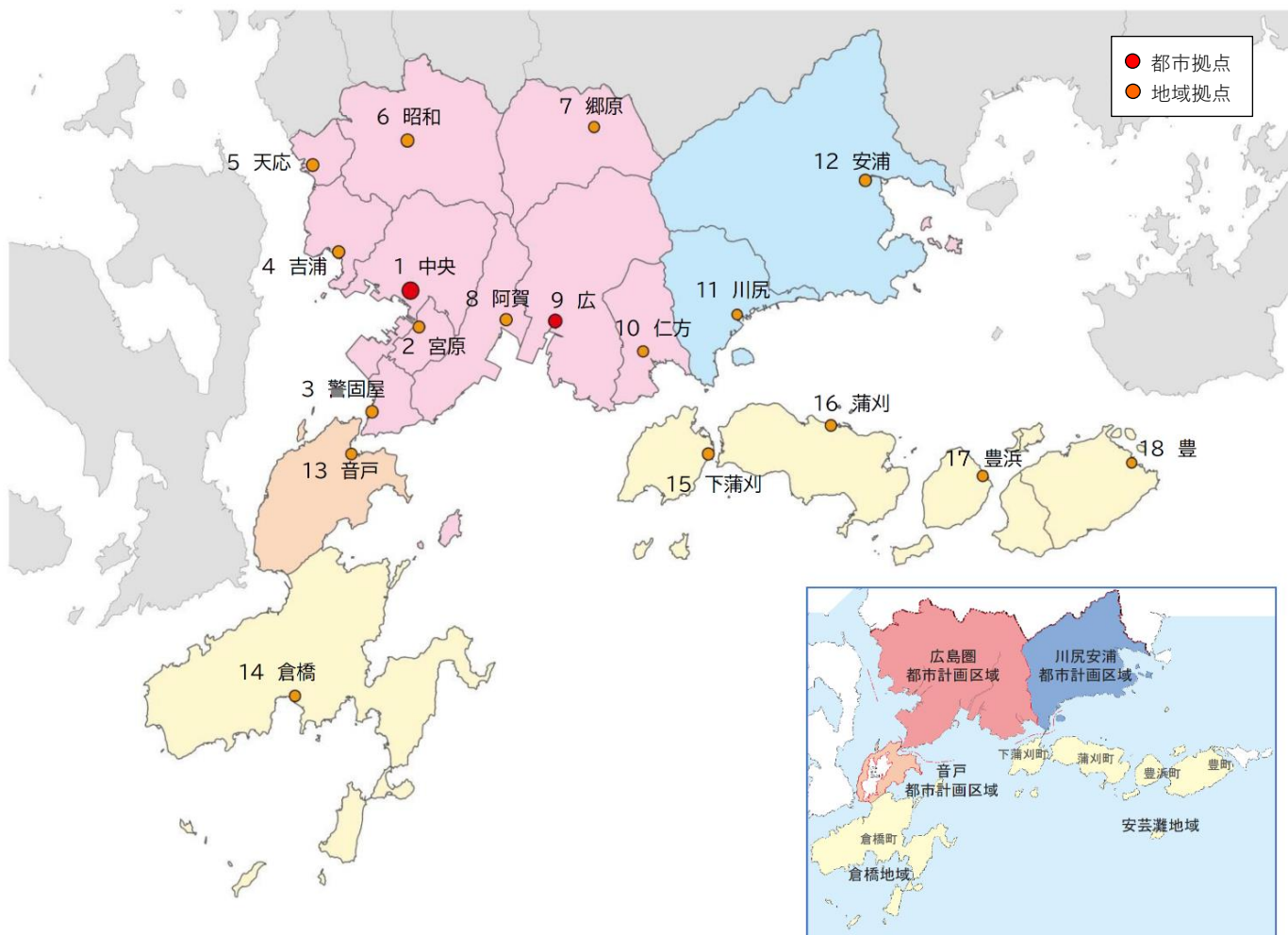
第5章 都市づくりの推進方策

- (1) 都市の将来像の実現に向けた都市づくりの展開
- (2) 都市計画マスタープランの進行管理と適切な見直し

(1) 地域別構想の役割

地域別構想は、全体構想で示した都市の将来像の実現のための地域別の都市づくりの施策などを定めます。
市民生活の基本的な生活圏となる都市拠点及び地域拠点の18地域を単位として策定します。

地域区分図



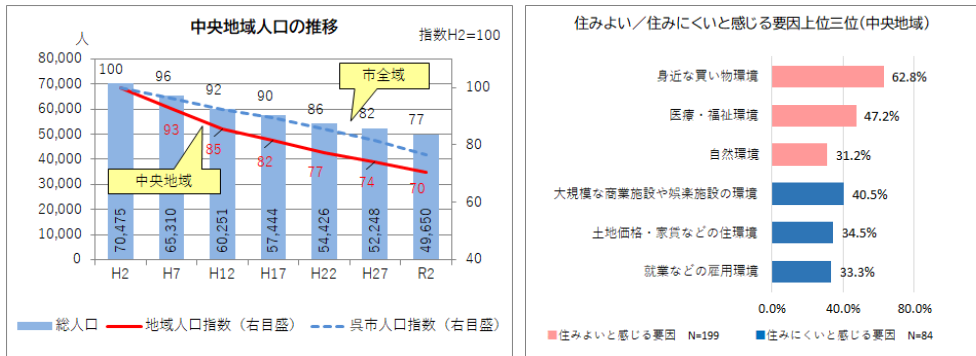
(2) 地域別の都市づくりの方針

① 中央地域

ア 地域の役割 都市拠点，生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・ 呉市の中核となる地域であるが人口減少・少子高齢化が進展している（地域人口：49,650人，年少人口割合：9.6%，高齢化率：33.3%）。
- ・ 大和ミュージアムなど呉市の主要な観光施設が立地している。
- ・ 商業・娯楽施設の環境の充実が望まれている。
- ・ 呉駅周辺地域総合開発や広島呉道路の整備に取り組んでいる。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・ 都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・ 呉駅周辺地域総合開発の推進
- ・ ウォーカブルで魅力的なまちなか形成
- ・ 産業の集積に向けた土地利用の促進（大規模事業所跡地の土地利用の検討など） など

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・ 道路ネットワークの構築（広島呉道路・(主)呉平谷線の整備，トライアングルネットワーク※1の構築に向けた検討など）
- ・ 呉駅周辺地域総合開発の推進（次世代型総合交通拠点の形成） など

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・ 効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進 など

(ハ) 都市の防災・減災，強靱化の方針

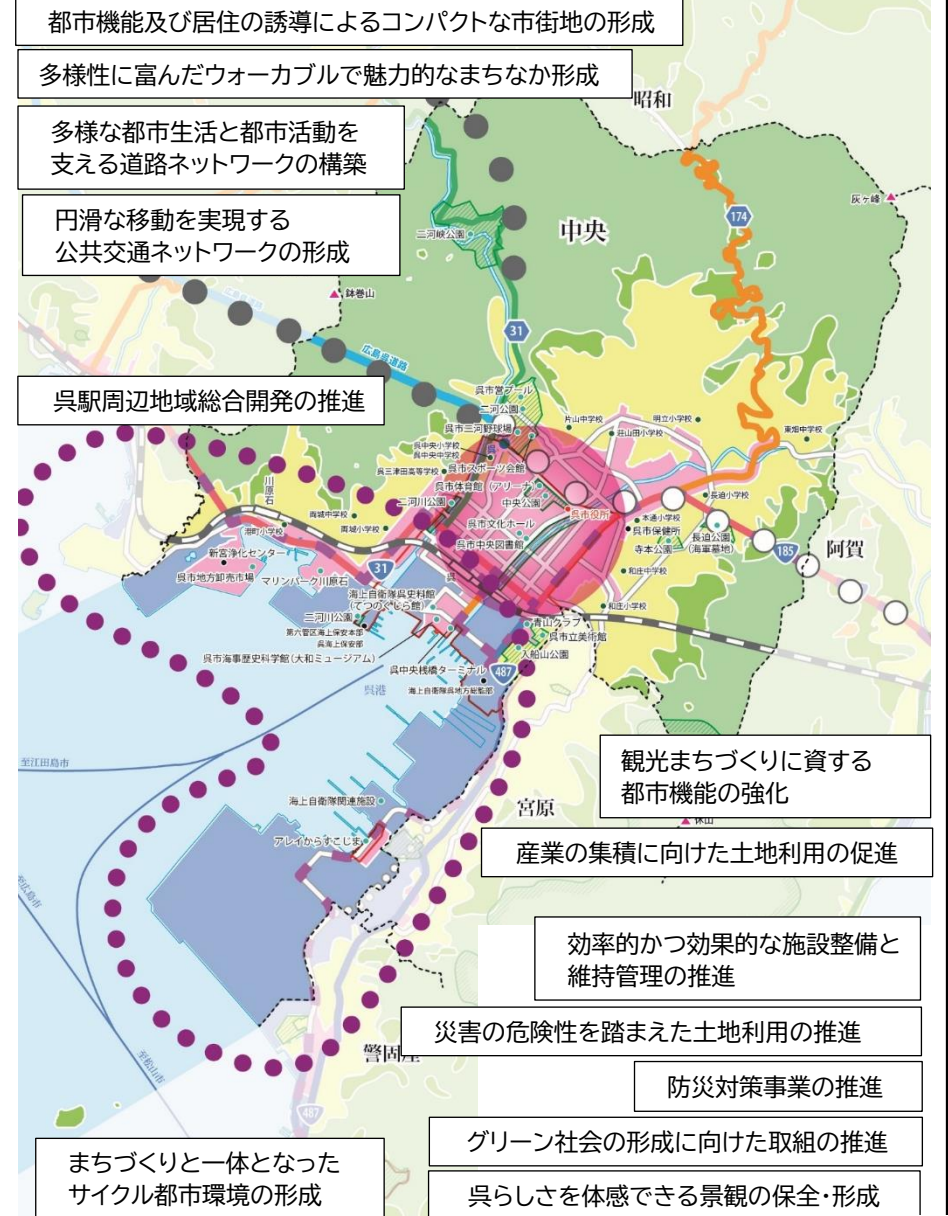
- ・ 災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・ 防災対策事業の推進（中央公園の防災機能の強化など） など

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・ 呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

※1 呉市と広島市，東広島市とを連携する高速交通ネットワーク

中央地域の都市づくりの方針図



(カ) ウォーカブルなまちなかの形成の方針

中央地域においては、呉駅周辺地域総合開発やリノベーションまちづくり、
 加えて都市再生推進法人の指定によるエリアマネジメントに向けた取組など
 新たなまちづくりの取組が始まっている。

これらの取組を契機として、都市拠点（都心）としてのにぎわいの創出と
 魅力の向上を図るため、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなか
 の形成に向けた方針を定める。

ウォーカブルなまちなかの形成に当たっては、これまで築いてきた、呉ら
 しさを生かしながら取り組むことを基本とし、次のとおり重点的な施策を推
 進する。

① 住む人・働く人・訪れる人が居心地良く、にぎわいと魅力のあるま ちなかの再生

- ・ミクストユースの土地利用の誘導とランドレベルの機能強化
- ・沿道の土地利用と一体となった道路空間の利活用と道路の再整備の推進
- ・中央公園などにおける民間活力の導入及び再整備の推進
- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

② まちなか居住の推進

- ・土地の高度利用などによるまちなか居住の誘導
- ・公有地を活用した都市機能・居住機能の誘導 など

③ エリアマネジメント体制の構築

- ・都市再生推進法人などとの連携による官民連携まちづくりの推進

[道路・公園空間を活用したイベント（れんがどおり・中央公園）]



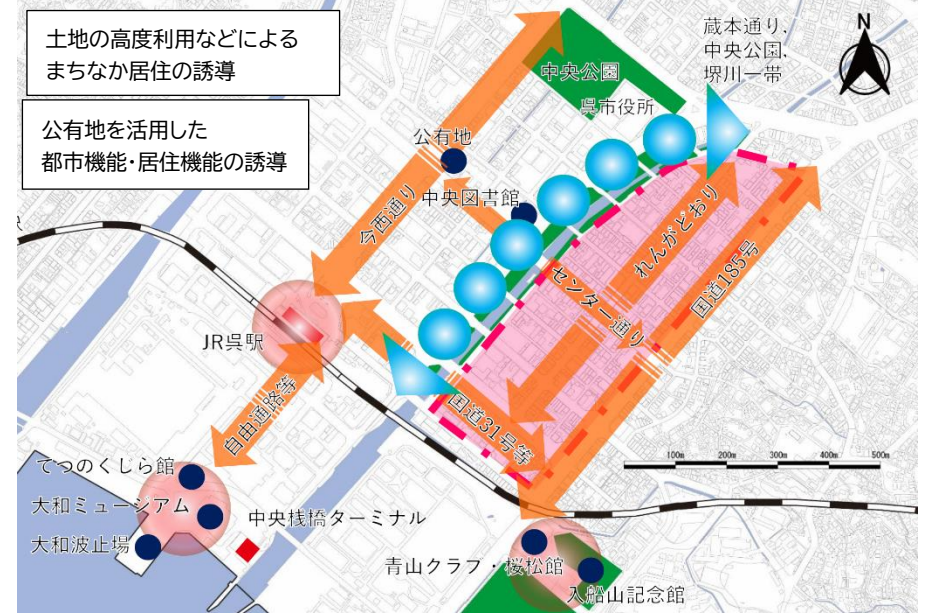
ウォーカブルなまちなかの形成の方針図

ミクストユースの土地利用の誘導とランドレベルの機能強化(主要回遊軸及び回遊軸)

沿道土地利用と一体となった道路空間の利活用と道路の再整備の推進

呉駅周辺地域における連鎖的な民間開発の誘導と
 呉駅交通ターミナルの2階デッキを活用したにぎわいづくりの推進

次世代型総合交通拠点の形成と回遊性の向上に向けた公共交通の確保



土地の高度利用などによる
 まちなか居住の誘導

公有地を活用した
 都市機能・居住機能の誘導

大和波止場や堺川などの
 水辺空間の活用検討

大和ミュージアム一帯の機能強化や
 青山クラブ・桜松館などの利活用の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

都市再生推進法人などとの連携による官民連携まちづくりの推進

中央公園などにおける民間活力の導入及び再整備の推進

リノベーションまちづくりによる遊休不動産
 の活用の促進

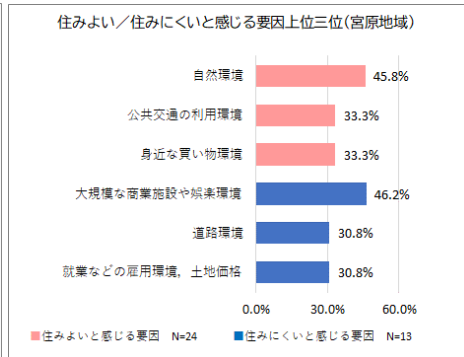
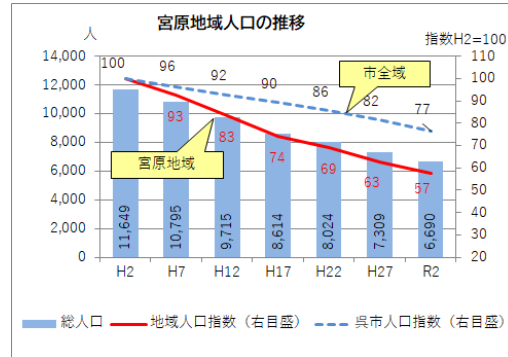
アーバンスポーツ施設の整備の推進

②宮原地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展している（地域人口：6,690人、年少人口割合：10.2%、高齢化率：37.2%）。
- ・狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（国道487号の機能強化、狭あいな道路の拡幅整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(エ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

宮原地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

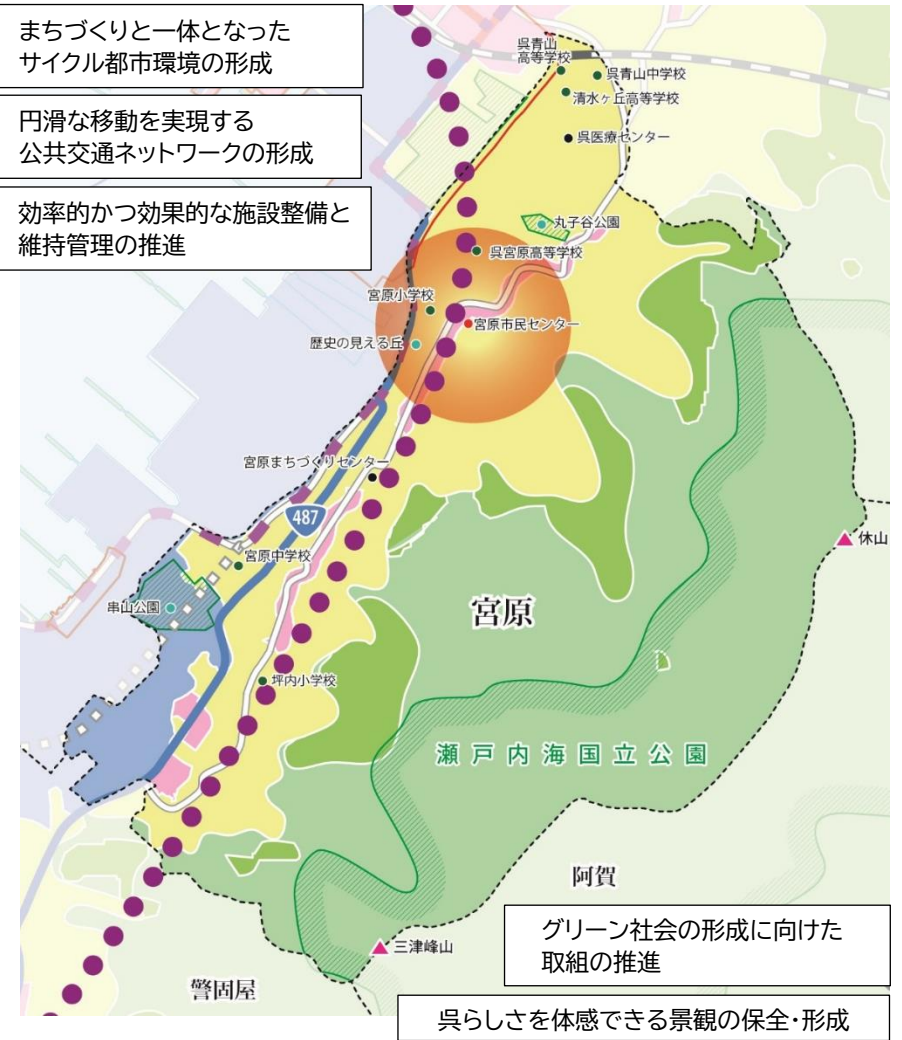
まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進



グリーン社会の形成に向けた取組の推進

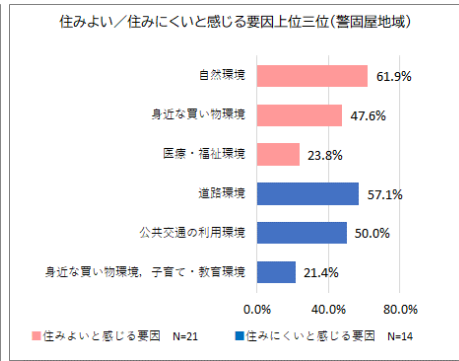
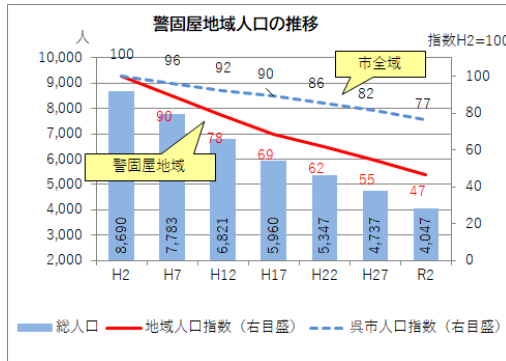
呉らしさを体感できる景観の保全・形成

③警固屋地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：4,047人、年少人口割合：7.5%、高齢化率：47.3%）。
- ・狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築 ((主)呉環状線の整備, 狭あいな道路の拡幅整備など)
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進 など

(エ) 都市の防災・減災, 強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進 (土砂災害特別警戒区域の逆線引き)
- ・防災対策事業の推進

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

警固屋地域の都市づくりの方針図

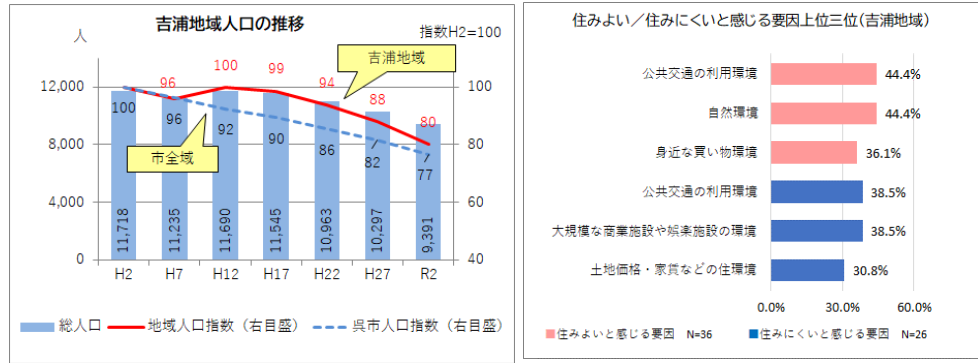


④吉浦地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・人口は、近年は減少傾向にあり、少子高齢化が進展している（地域人口：9,391人，年少人口割合：10.5%，高齢化率：35.4%）。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成 など

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（広島呉道路の整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成（JR吉浦駅及びその周辺施設のバリアフリー化の推進など） など

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進（広島呉道路の整備など）

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

吉浦地域の都市づくりの方針図

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進



住宅団地の保全

産業の集積に向けた土地利用の促進

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

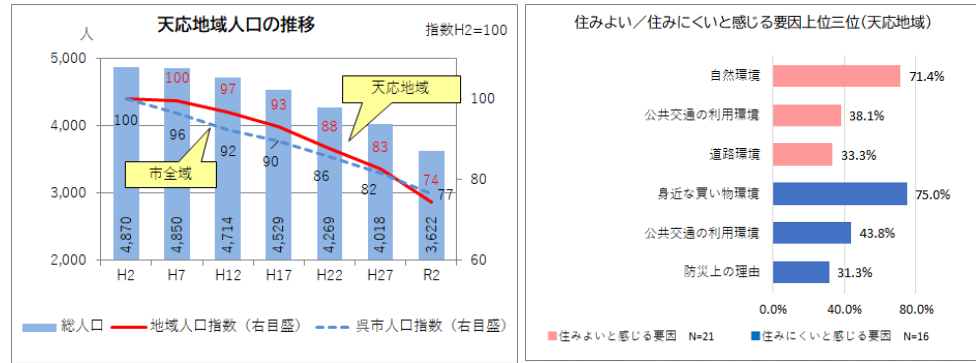
呉らしさを体感できる景観の保全・形成

⑤天応地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域同様に人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：3,622人、年少人口割合：11.3%、高齢化率：34.7%）。
- ・日常生活を支える身近な買い物環境の充実や日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。
- ・呉ポートピアパークには、呉市内外から多くの人々が訪れている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・西の玄関口の整備（呉ポートピアパークの新たな土地利用の検討） など

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（広島呉道路・(主)呉環状線の整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・西の玄関口の整備（新たな土地利用と一体となった呉ポートピアパークの再整備の検討） など

(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進（広島呉道路の整備など）

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

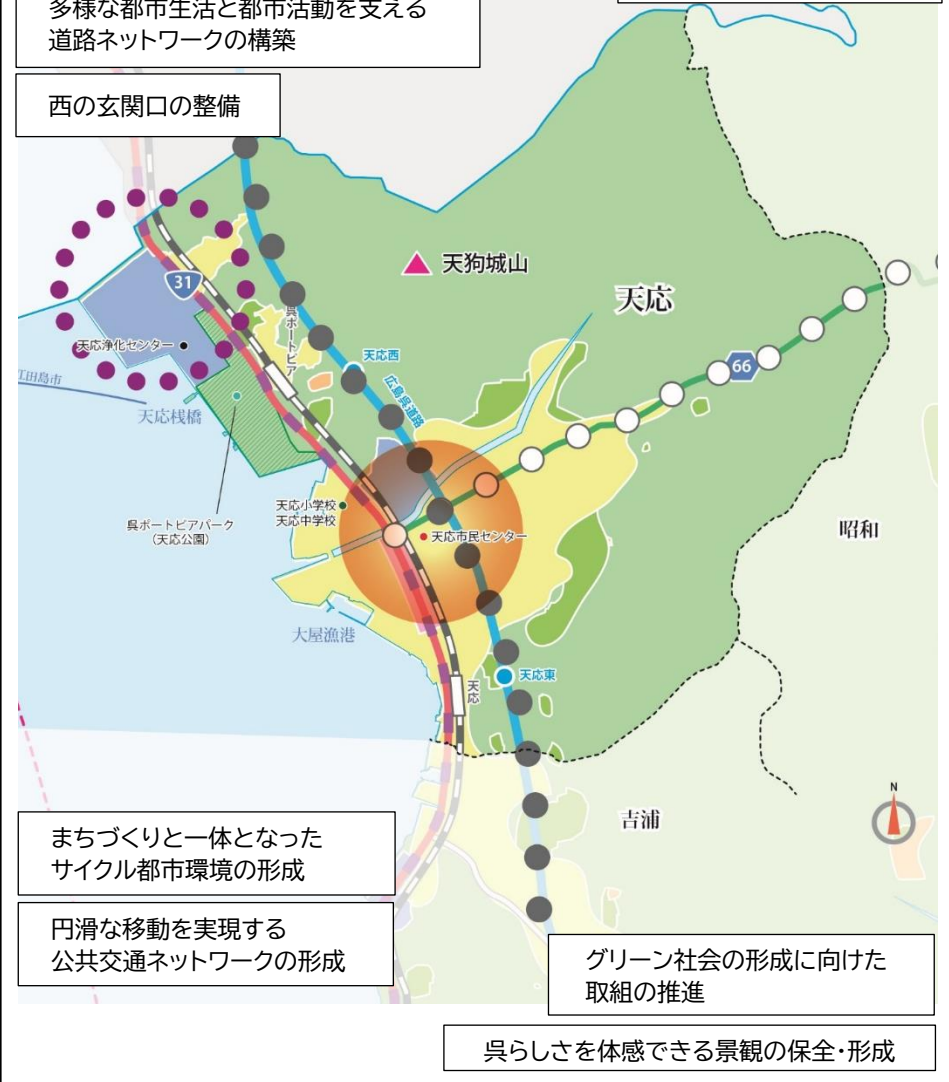
天応地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

産業の集積に向けた土地利用の促進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

西の玄関口の整備



効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

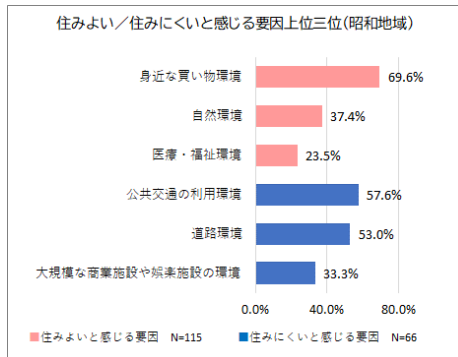
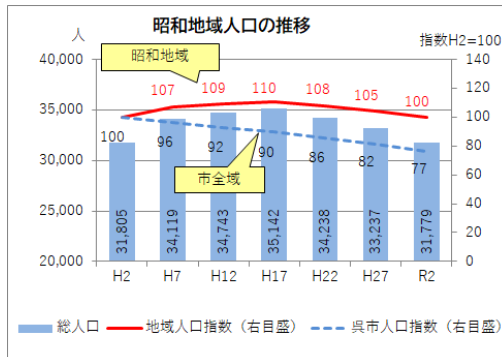
呉らしさを体感できる景観の保全・形成

⑥昭和地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・宅地開発などが若年層の定住に結び付いており、人口は緩やかな減少傾向にある（地域人口：31,779人、年少人口割合：12.2%、高齢化率：34.9%）。
- ・苗代工業団地では産業が集積し、呉市の雇用を支えている。
- ・多くの住宅団地では、住民の高齢化や空き家の増加が見られる。
- ・道路整備や公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・住宅団地の保全と再生
- ・郷原インターチェンジ周辺の計画的な土地利用の推進（新たな産業団地の整備の検討など） など

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(主)呉平谷線・(都)焼山押込線の整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(エ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進（二河川水系における流域治水の推進など）

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

昭和地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

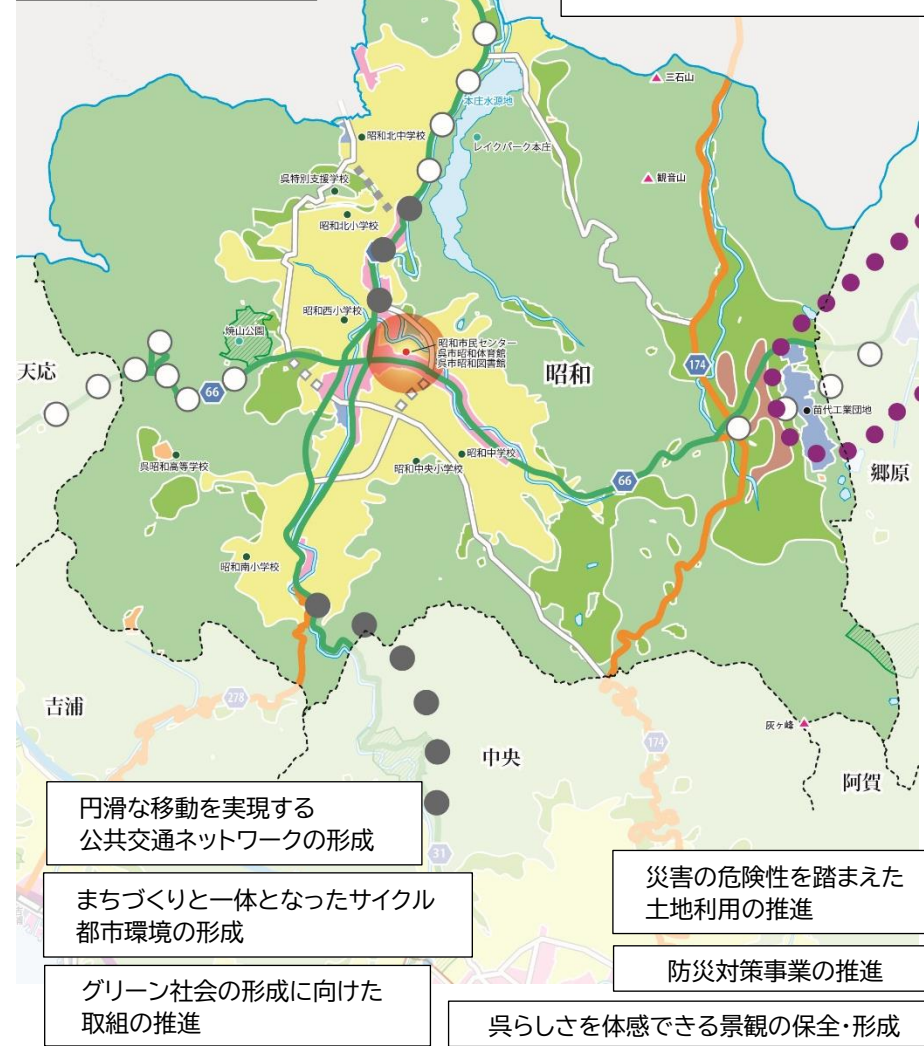
住宅団地の保全と再生

集落環境の保全

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

郷原インターチェンジ周辺の計画的な土地利用の推進

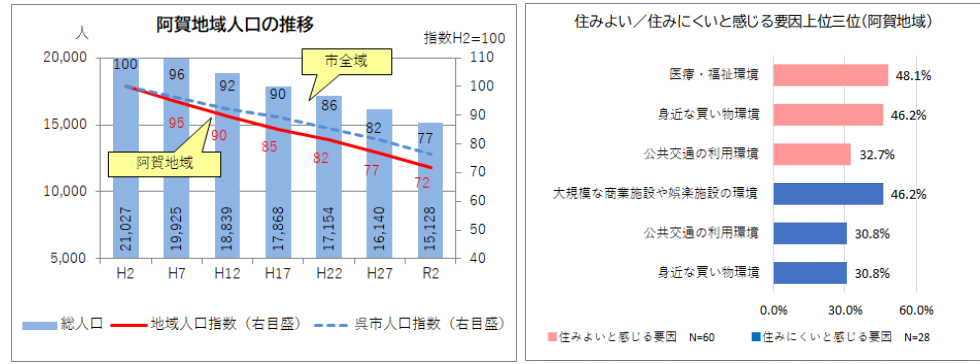


⑧阿賀地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展している（地域人口：15,128人、年少人口割合：10.2%、高齢化率：37.7%）。
- ・狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。
- ・阿賀マリノポリス地区では産業集積が進み、呉市の雇用を支えている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の推進（阿賀マリノポリス地区における生産流通機能の維持・強化など）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（東広島・呉自動車道の整備検討（阿賀 IC 広方面など）、狭あいな道路の拡幅整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・阿賀マリノポリス地区の港湾機能の強化 など

(エ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進（黒瀬川水系・大谷川水系における流域治水の推進など）

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

阿賀地域の都市づくりの方針図

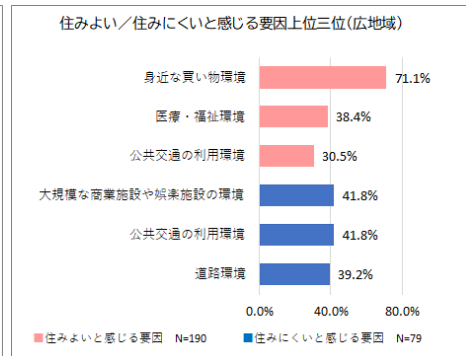
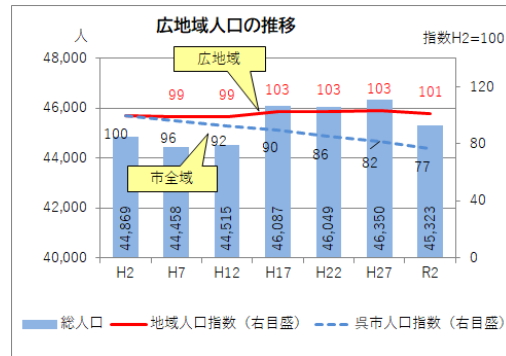


⑨ 広地域

ア 地域の役割 都市拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・土地区画整理事業などが若年層の定住に結び付いており、年少人口は呉市内で最も多い（地域人口：45,323人、年少人口割合：14.1%、高齢化率：25.5%）。
- ・商業・娯楽施設の環境の充実が望まれている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実や道路環境の改善が求められている。
- ・広駅前地区では都市計画道路の整備などに取り組んでいる。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の促進

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（広駅前地区の都市計画道路の整備、国道185号バイパスの整備検討など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・ごみ処理場の再整備の推進 など

(エ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進（土砂災害特別警戒区域の逆線引き）
- ・防災対策事業の推進（黒瀬川水系における流域治水の推進など）

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

広地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

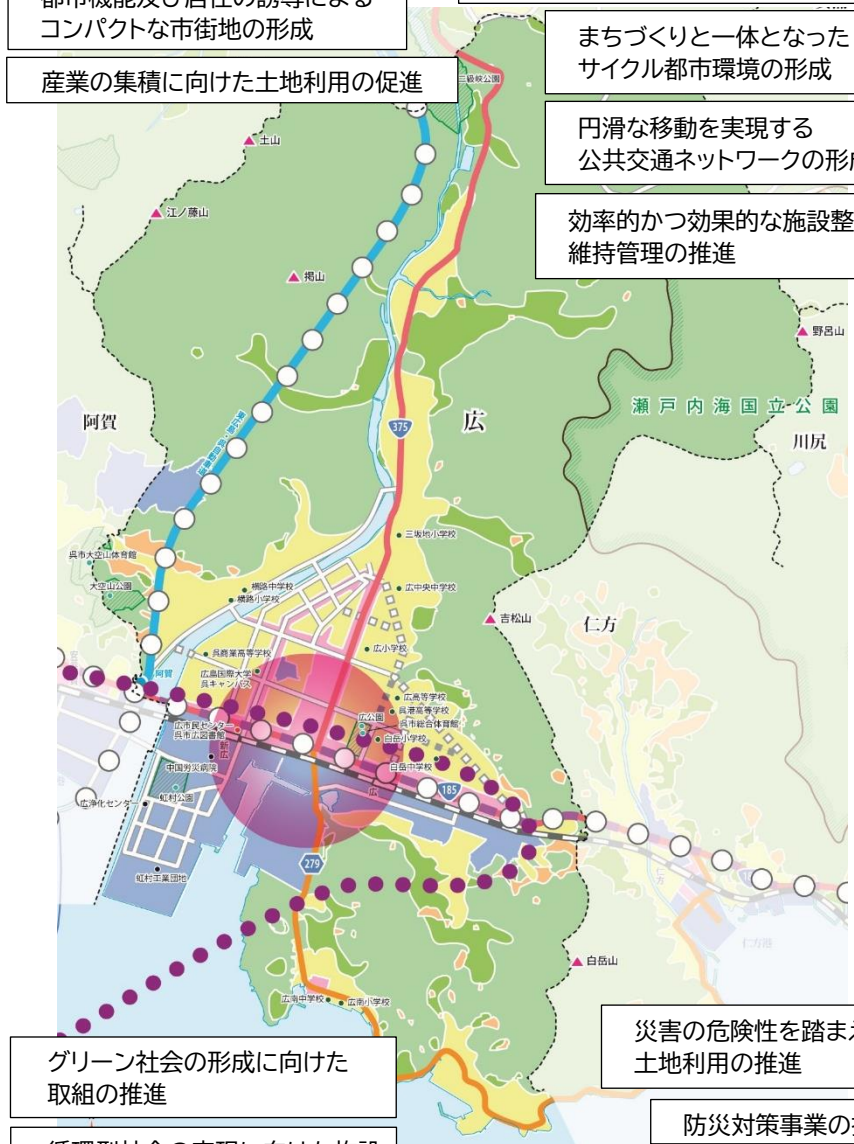
産業の集積に向けた土地利用の促進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進



グリーン社会の形成に向けた取組の推進

循環型社会の実現に向けた施設整備

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進

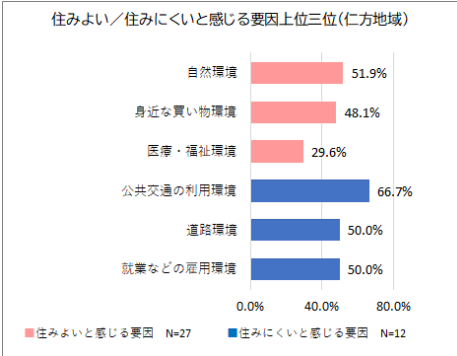
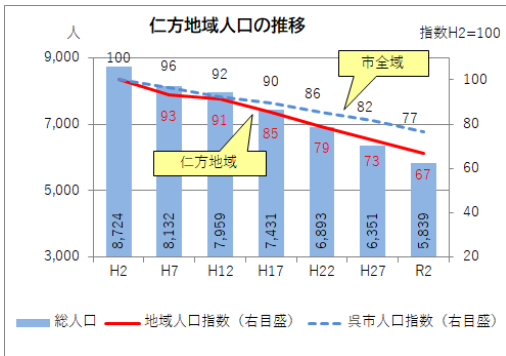
呉らしさを体感できる景観の保全・形成

⑩仁方地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展している（地域人口：5,839人、年少人口割合：10.1%、高齢化率：39.1%）。
- ・狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の促進

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築 (国道 185 号バイパスの整備検討, 狭あいな道路の拡幅整備など)
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(エ) 都市の防災・減災, 強靱化の方針

- ・災害の危険性を踏まえた土地利用の推進 (土砂災害特別警戒区域の逆線引き)
- ・防災対策事業の推進 (国道 185 号バイパスの整備検討など)

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

仁方地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

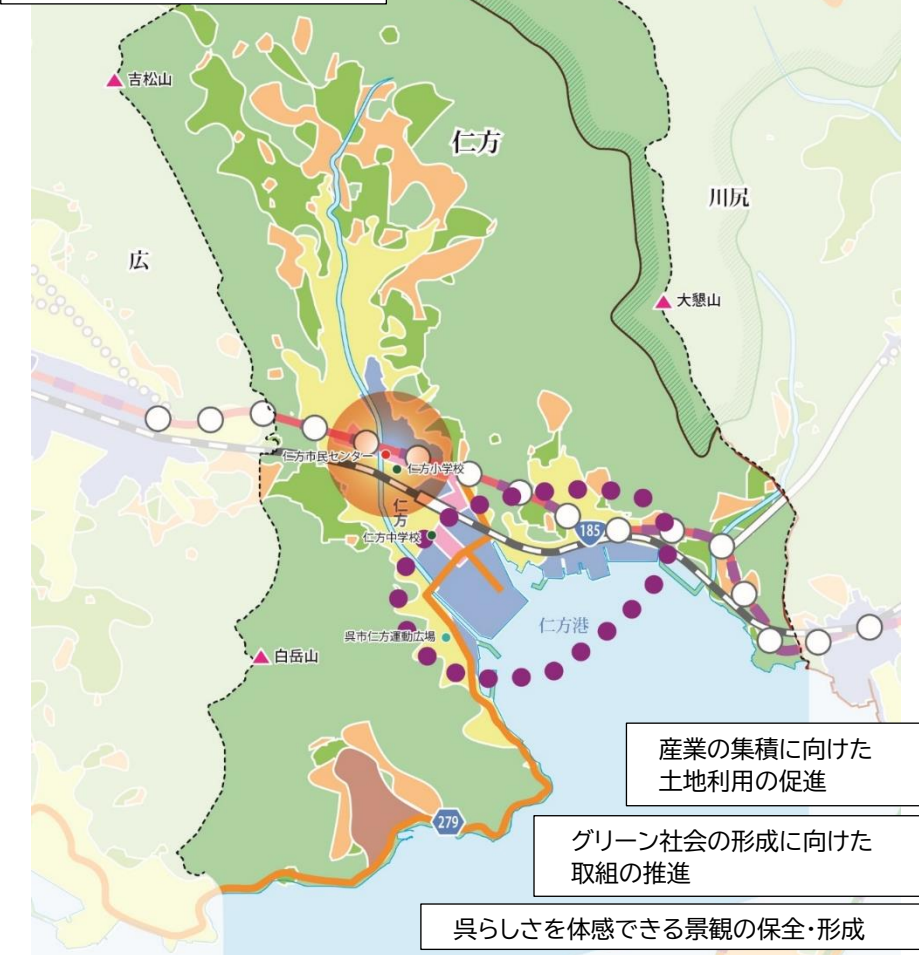
効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進

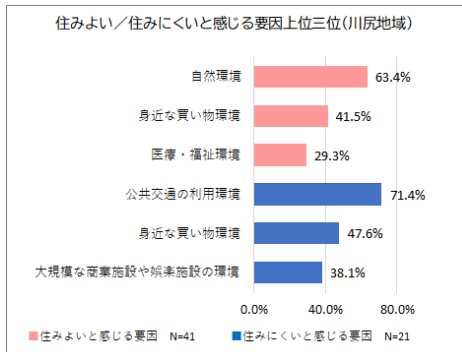
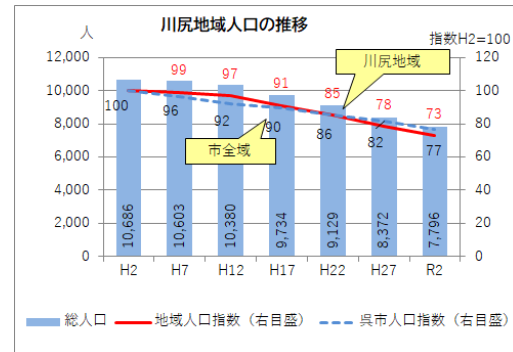


⑪川尻地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域同様に人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：7,796人、年少人口割合：9.4%、高齢化率：39.9%）。
- ・日常生活を支える身近な買い物環境の充実が望まれている。
- ・野呂山では、キャンプ場など自然環境を生かしたまちづくりが行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の促進
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（野呂山キャンプ場などの施設の利活用の推進）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（市道川尻本線1号の整備、国道185号バイパスの整備検討など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成（JR安芸川尻駅のバリアフリー化の推進） など

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進（国道185号バイパスの整備検討など）

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

川尻地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

産業の集積に向けた土地利用の促進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進



まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

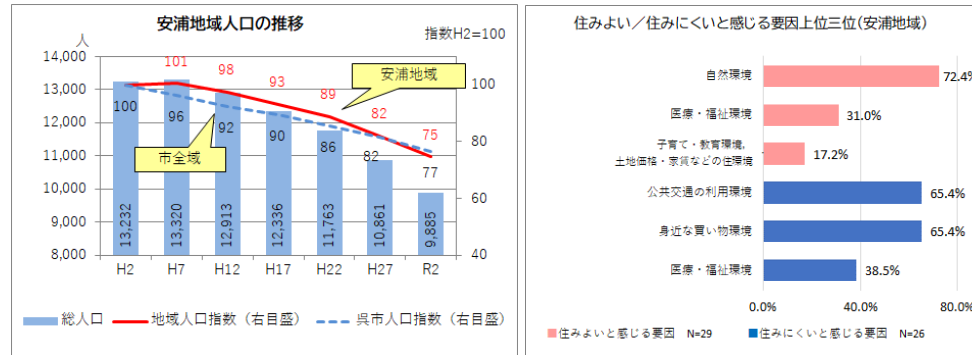
防災対策事業の推進

⑫安浦地域

ア 地域の役割 地域拠点、生産流通拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域同様に人口減少が進展している。市全域と比較して高齢化率が高くなっている（地域人口：9,885人、年少人口割合：9.2%、高齢化率：41.3%）。
- ・日常生活を支える身近な買い物環境の充実が望まれている。
- ・グリーンピアせとうちなど、自然環境を生かしたまちづくりが行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の促進
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（グリーンピアせとうちなどの利活用の検討）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(主)矢野安浦線の機能強化、国道185号バイパスの整備検討など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

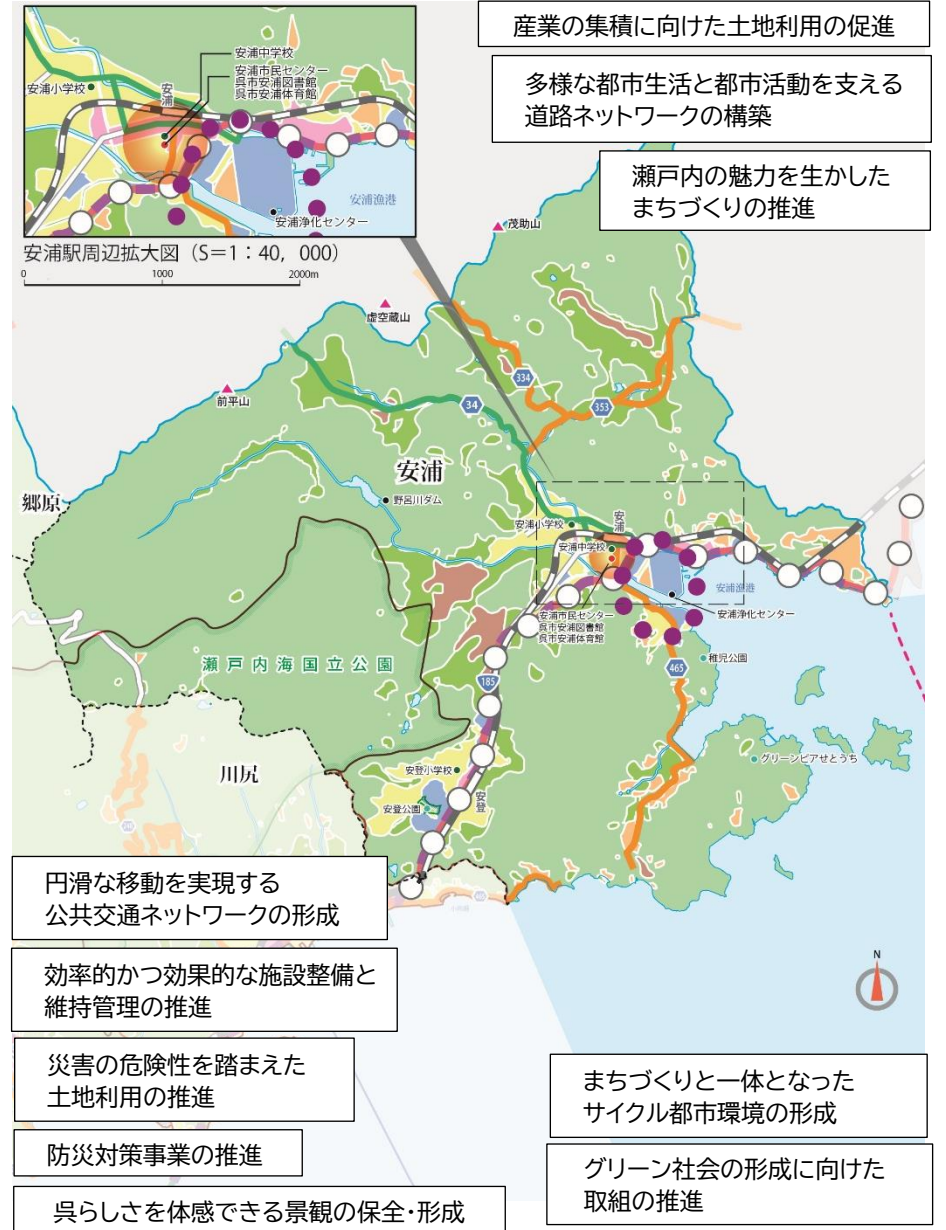
(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進（野呂川水系における流域治水など）

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

安浦地域の都市づくりの方針図

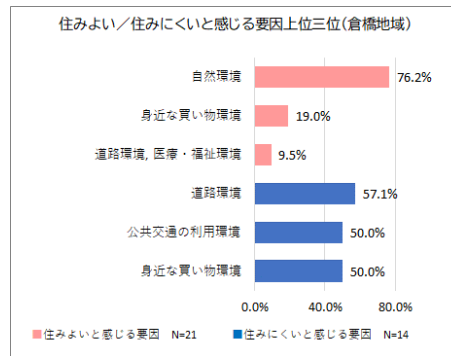
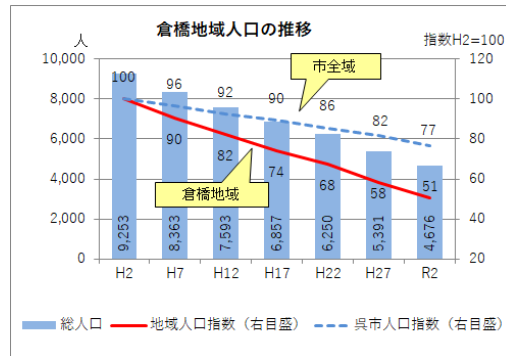


⑭倉橋地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：4,676人、年少人口割合：5.4%、高齢化率：54.0%）。
- ・柑橘やトマトなどの生産を始めとして農水産業が営まれている。
- ・飲食・宿泊施設など、文化や自然環境を生かした起業が行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実や道路整備が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（桂浜海水浴場周辺の施設の利活用の推進、ワーケーションなどに対応した環境整備の促進など）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(主)音戸倉橋線・(一)中大迫清田線の整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成 など

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・下水道の整備の推進 など

(エ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

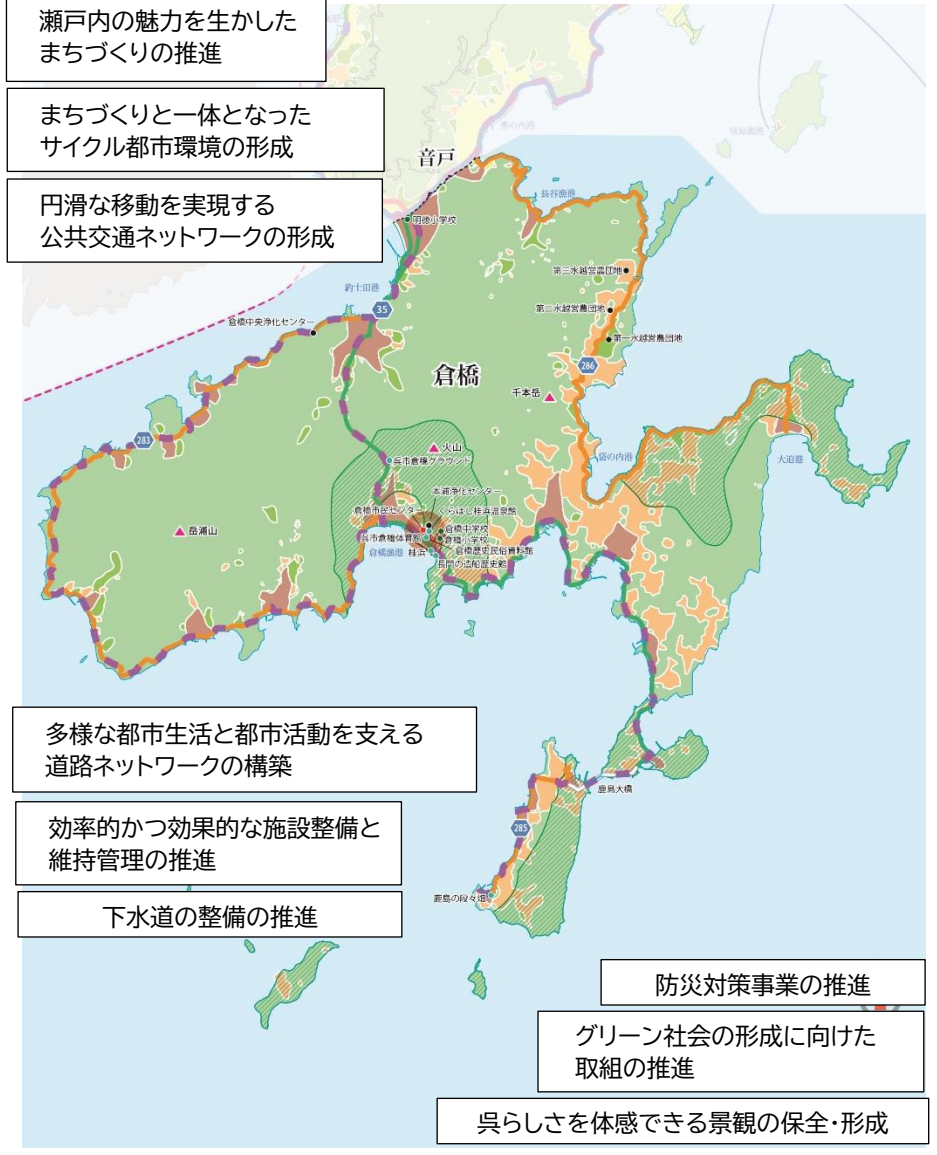
倉橋地域の都市づくりの方針図

地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

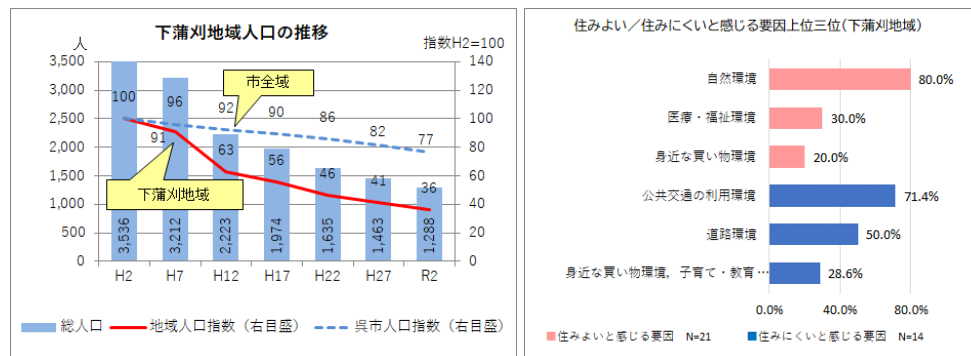


⑮ 下蒲刈地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：1,288人、年少人口割合：4.7%、高齢化率：53.9%）。
- ・柑橘の生産や漁業など農水産業が営まれている。
- ・安芸灘とびしま海道としての一体的な取組や文化・自然環境を生かした起業が行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・地域協働，観光，農水産業施策などと連携した土地利用の誘導
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（三之瀬地区の多様な施設の利活用の推進，ワーケーションなどに対応した環境整備の促進など）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(主)下蒲刈川尻線の機能強化など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成
- ・まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

(ウ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進 など

(エ) 都市の防災・減災，強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進

(オ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

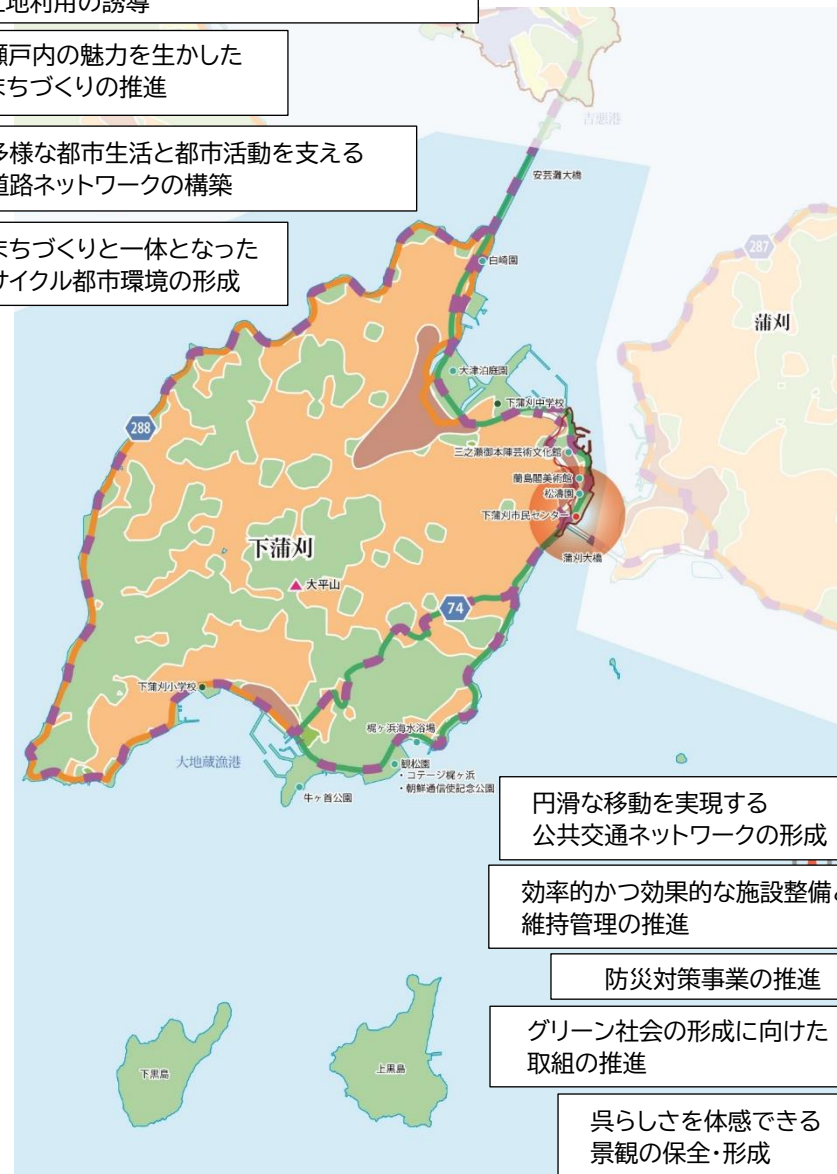
下蒲刈地域の都市づくりの方針図

地域協働，観光，農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

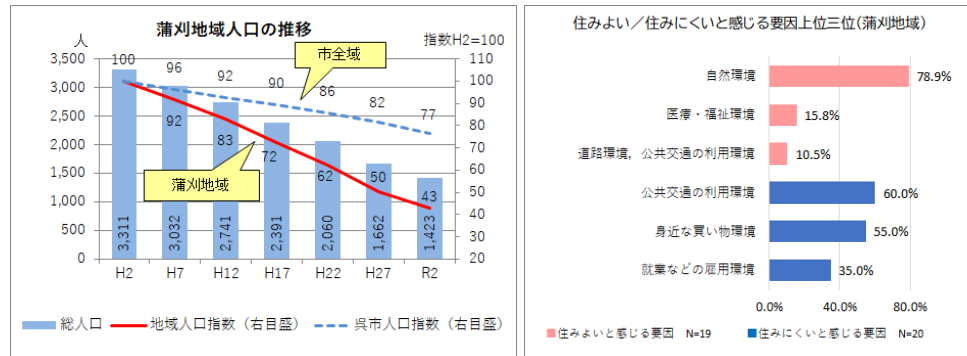


⑩蒲刈地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：1,423人、年少人口割合：4.4%、高齢化率：63.2%）。
- ・柑橘の生産や漁業など農水産業が営まれている。
- ・安芸灘とびしま海道としての一体的な取組や文化・自然環境を生かした起業が行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（県民の浜の宿泊施設などの利活用の推進、ワーケーションなどに対応した環境整備の促進など）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(一)上蒲刈循環線の機能強化など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成
- ・まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進

(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

蒲刈地域の都市づくりの方針図

地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

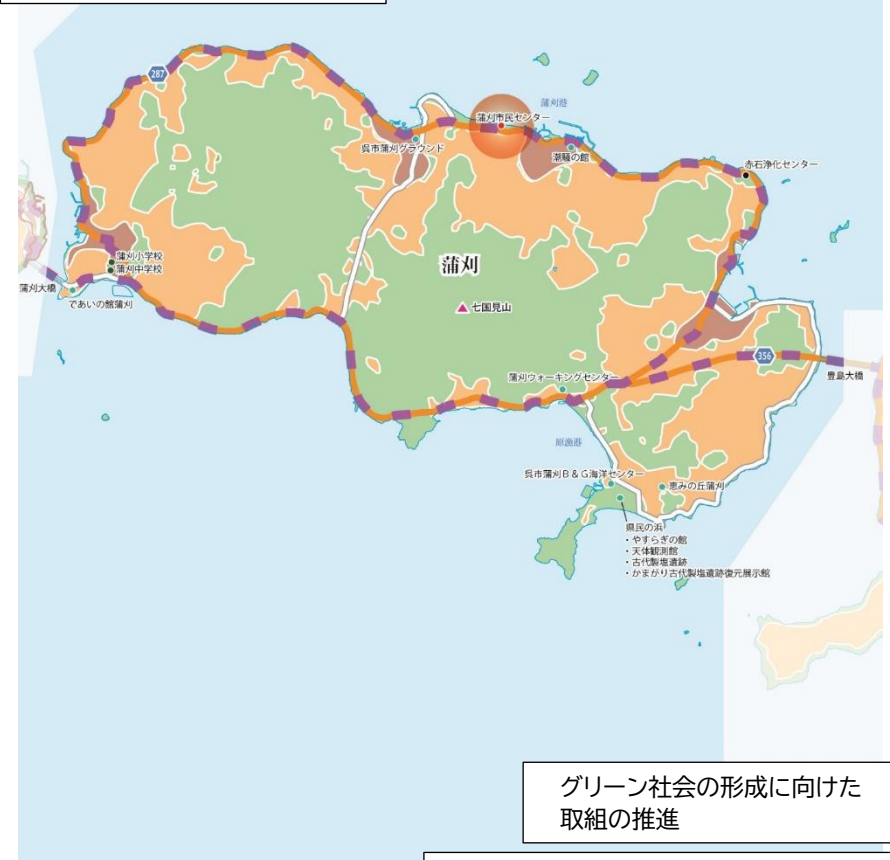
多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

防災対策事業の推進



グリーン社会の形成に向けた取組の推進

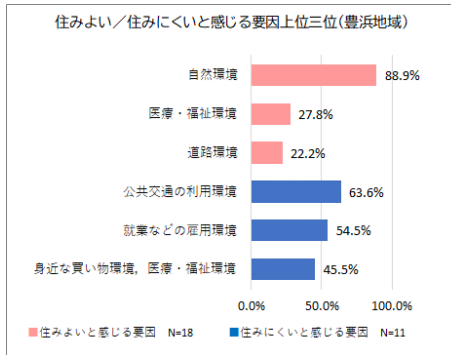
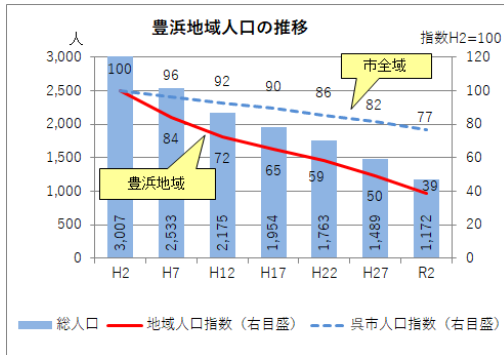
呉らしさを体感できる景観の保全・形成

⑰豊浜地域

ア 地域の役割 地域拠点

イ 地域の概況と特性

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展している（地域人口：1,172人、年少人口割合：3.9%、高齢化率：72.2%）。
- ・柑橘の生産や漁業など農水産業が営まれている。
- ・安芸灘とびしま海道としての一体的な取組や文化・自然環境を生かした起業が行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



ウ 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

(ア) 土地利用の方針

- ・地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（ワーケーションなどに対応した環境整備の促進など）

(イ) 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（(一)豊島線の整備など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成
- ・まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

(ロ) 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

(ハ) 都市の防災・減災、強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進

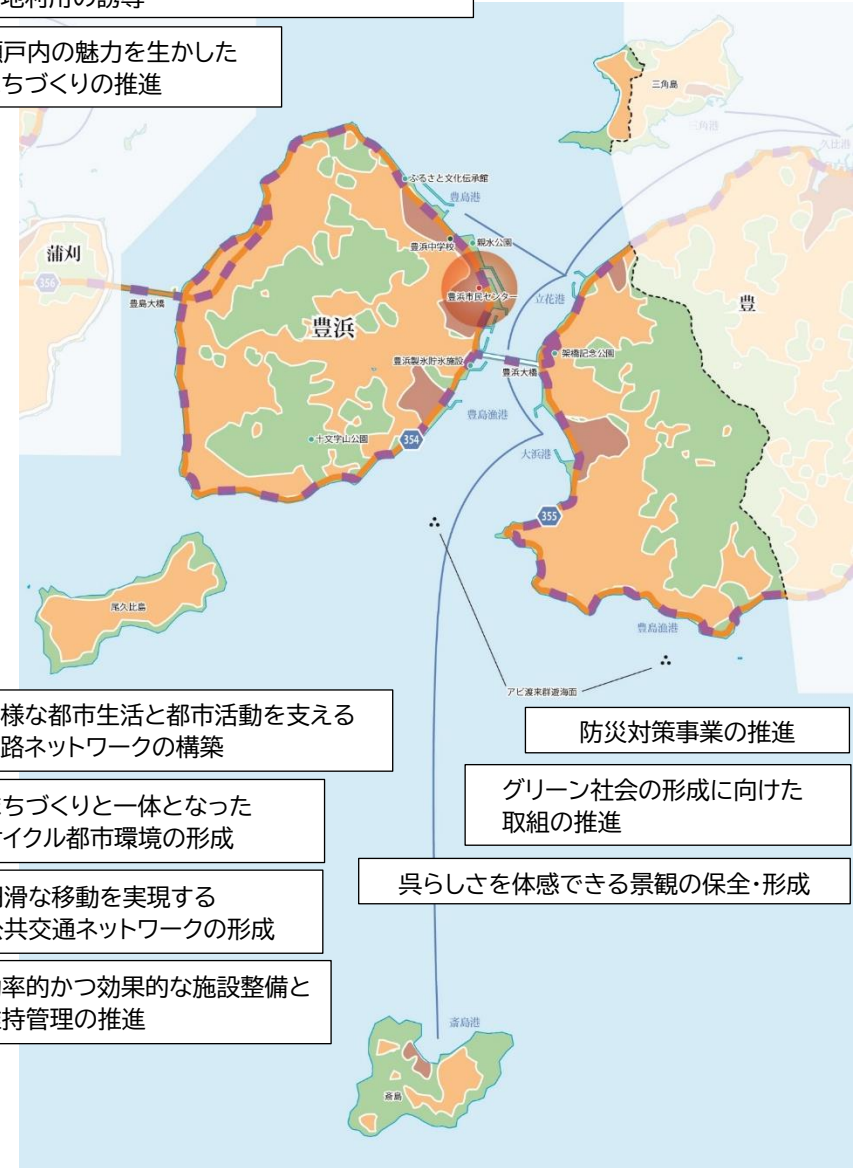
(ニ) 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

豊浜地域の都市づくりの方針図

地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進



第5章 都市づくりの推進方策

(1) 都市の将来像に向けた都市づくりの推進

都市の将来像の実現に向け、より効果的な都市づくりを進めるため、国・県などの関係機関や関係部署との横断的な連携を図るとともに、都市計画制度の活用に限らず、関連する多様な制度や施策などと一体となった都市づくりを推進します。

また、都市づくりは、国・県・市の行政機関だけでなく、住民やNPO団体、事業者、教育機関等の多様な主体の役割を明確にし、良好なパートナーシップを確立して互いに協力することでまちづくりを進めるものとします。

(2) 都市計画マスタープランの進行管理と適切な見直し

都市計画は、その目的の実現には、時間を要するため、中長期的な見通しをもって取り組む必要がありますが、都市を取り巻く社会情勢に変化が生じた場合には、柔軟に、適切に対応していく必要があります。

このため、PDCAサイクルを確立し、都市計画マスタープランがより実効性のあるものとなるよう、進行管理を行うとともに、必要に応じて見直しを行います。

◇今後のスケジュール（予定）

令和4年10月から11月まで 呉市都市計画マスタープラン地域別構想（素案）に関する地域説明会の開催

令和4年12月 呉市都市計画マスタープラン検討委員会へ呉市都市計画マスタープラン（案）について報告

令和5年 1月 呉市都市計画審議会へ呉市都市計画マスタープラン（案）の諮問

令和5年 2月 産業建設委員会へ呉市都市計画マスタープラン（案）の報告